【令和2年度】

「自然公園」に関するアンケートリサーチプラン

1. 調査の背景と目的

大阪府には、優れた自然風景地として指定されている自然公園がいくつもあり、自然環境を保護するとともに、子どもから年配者、自然愛好家など、幅広く誰もが自然に親しみ、楽しむことをめざして整備されてきた。しかしながら、利用者のニーズの拡大など、利用面での課題も顕在化している。そこで、自然環境の保護を図りながら府民ニーズに対応するため、府民の自然公園に対するニーズについて把握することを目的に、本調査を実施する。

1. 仮説項目

仮説１：性別や年代、家族構成、山や川や森へ一緒に行く人の違いによって、山や川や森に求めるものに差がある。

仮説２：山や川や森の中で宿泊したことがある人は、ない人に比べ、府内自然公園に宿泊施設があったら利用したいと思う割合が高い。

1. 調査対象

この１年の間に、自然と触れ合う場（山、川、森）へ行ったことがある人のうち、自然公園を利用したことがある府民500サンプル、知っているが利用したことはない府民500サンプル、計1,000サンプル（各性年代均等割り）

1. 質問項目

予備質問６問

本質問17問

＜予備質問6問＞

1. 性別（SA）
2. 年齢（NA）
3. 都道府県（SA）
4. 市町村（SA）
5. この１年の間に、自然と親しむ場（山、川、森）に出かけたことがあるか（SA）
6. 府内自然公園を利用したことがあるか（SA）

＜本質問17問＞  
**《自然公園の利用について》**

1. 知っている国定公園、府立自然公園（MA）
2. 知っている大阪府民の森（MA）
3. （SC6=利用したことがある）府内自然公園での過ごし方（MA）

**《山や川や森の利用について》**

1. 山や川や森に誰とでかけることが多いか（SA）
2. 訪問する山や川や森を選ぶ際に、重視していること（MA・SＡ）
3. 山や川や森を利用するにあたり、不便だと感じたこと（MA・SA）
4. 山や川や森を利用した中で、利用したことがある設備・施設（MA）
5. （Q７＝ない以外）Q７の中で、有料でも利用したことがあるもの（MA）
6. 山や川や森を利用した中で、体験したことがあるアクティビティ（MA）
7. （Q９＝ない以外）Q９の中で、有料でも利用したことがあるもの（MA）
8. 山や川や森の中で宿泊したことがあるか（SA）
9. （Q1１＝宿泊したことがある）利用した宿泊施設（MA）

**《府内自然公園の施設・設備について》**

1. 府内自然公園で、有料でも利用したい設備・施設（MA・SA）
2. 府内自然公園で、有料でも利用したいアクティビティ（MA・SA）
3. 府内自然公園に、有料の宿泊施設があったら利用したいか（SA）
4. （Q15＝利用したい）最も利用したい形態の宿泊施設（SA）

**《その他》**

1. 家族構成（MA）
2. 検証方法

仮説１：SC1～２、Q４、Q17×Q５、Q６

仮説２：Q11×Q15